

創刊に寄せて

理事長 水田 宗子

今日の世界において、政治、経済、社会、文化のグローバル化は急速に進展し、国際的なヒト・モノ・カネ・情報の流動性が高まっている。この牽引役である情報通信技術、科学技術、交通手段の著しい進歩は資本主義の有様を変え、社会構造を高度化、複雑化させている。そして、このような変化は、私たちの日常生活にまで影響を与えている。他方、経済発展は地球環境の破壊をもたらし、これに対して家計、企業、行政そして全世界が共通認識を持ち、共に一つになって将来の地球を守ることが緊急の課題となっている。

このような急速な変化に伴って発生する新たな諸課題に対応するためには、私たちが過去に蓄積した知識や技術のみではなく、新たな知識や専門的能力を持った指導性と品格ある柔らかな人材の関与が求められている。

本学は、「学問を通じての人間形成」を建学の精神として、昭和40年4月に設立された。本年創立40周年を迎えるに当たり、総合大学として、学部間はもとより、学部ごとの学際性および専門性を高めるという強い意識から、従来の経済学部経営学科を新たに経営学部として平成16年4月に独立させた。

経営学部では、ビジネス界のみならず各界で求められるアントレプレナーを養成することを教育の課題としている。カリキュラムでは「企業マネジメント・コース」、「行政マネジメント・コース」、「環境マネジメント・コース」を設置し、さらに、国内外のインターンシップや特別プログラムなども用意し、主体的に国際貢献や地域参画ができる有能かつ有益なテクノロジストを輩出すべく万全の体制を整えている。また、社会変革のコンセプトとしてのイノベーションを研究の主軸としている。

創立者である水田三喜男の生誕100周年に学術研究形成の一環として、『城西大学経営紀要』が発刊されることは大変喜ばしいことである。レフリー制度の確立した「紀要」は、本学ないし経営学部の研究水準の高さを示すバロメーターであり、ここに掲載された6編の論文はどれも秀作である。『城西大学経営紀要』が、激動する国際社会や地域社会のマネジメントの新たな理論を究め、それを実践するための学部内部の研鑽の場であるのみならず、今後ますます充実し学外の各種機関との交流の媒体となることを願ってやまない。